

2008 年度日本気象学会関西支部第 2 回例会（四国地区）プログラム

日時:2008 年 12 月 13 日（土）13 時～17 時 30 分

場所:徳島大学工業会館（常三島キャンパス内 2 階メモリアルホール）

一般講演の発表時間は 9 分、質疑応答は 3 分です。*は発表者です。

13:00～13:05 地区理事挨拶

13:05～14:05 特別講演（座長:佐々浩司）
線状降水帯の構造と維持機構 瀬古 弘（気象研究所）

14:05～14:15 休憩

14:15～15:51 一般講演 1（座長:寺尾 徹）

- 1 2008 年 7 月 28 日に発生した大雨（速報）
～六甲山南麓に位置する都賀川で発生した濁流水難事故について～
*金森恒雄，小山芳太，小西誠二，根本和宏（神戸海洋気象台）
- 2 2003 年 7 月 18 日に広島県で発生した線状降水帯
～気象庁非静力学モデルで解析した気流構造と地形や中層乾燥気塊の効果～
*栗原佳代子（関西航空地方気象台高松空港出張所），金森恒雄（神戸海洋気象台）
瀬古 弘（気象研究所）
- 3 2008 年 4 月 10 日徳島県で発生した線状降水帯の構造
*依岡幸広（高松地方気象台）
- 4 2008 年 5 月 13 日に高知県で発生した線状降水帯について
*荒木則孝，西本健二，三井秀夫，新道義孝（高知地方気象台）
- 5 線状降水帯の事例解析
*牧田広道，岩本久雄，飯田早苗，朝原信長，濱崎博史，瀬川知則，鎌倉和夫
（大阪管区気象台）
- 6 大阪平野における線状降水帯の発生機構について
～2004 年 5 月 13 日の事例～
*瀬川知則，岩本久雄，飯田早苗，朝原信長，濱崎博史，牧田広道，鎌倉和夫
（大阪管区気象台）
- 7 2008 年 9 月 21 日に発生した多度津・丸亀の突風災害
佐々浩司，*宮井星児（高知大学理学部），林 正典，田中利秀（高松地方気象台）
鈴木 修（気象研究所）
- 8 香川県で発生した突風災害（2008 年 9 月 21 日）について
*福原正明，内藤健治，政岡孝明，濱田浩一，松下敏裕，山根宏之，谷脇由彦
（高松地方気象台）

15:51～16:05 休憩

16:05 ~ 17:29 一般講演 2 (座長:金森恒雄)

- 9 高知周辺の夏季熱雷と落雷の関係
佐々浩司, *湯田和希子 (高知大学理学部)
山内 洋, 猪上華子, 中里真久, 楠 研一 (気象研究所)
- 10 やまじ風発生時の気象状況について (4) ~ 風の変動特性 ~
紀井伸章 (西条市立東予西中学校)
*寺尾 徹, 松村雅文, 森 征洋 (香川大学教育学部)
- 11 やまじ風前線における風向・風速の乱れの研究
*松岡孝昌, 寺尾 徹, 森 征洋 (香川大学教育学部)
- 12 やまじ風に付随して発生する舞々風現象の定量的評価
*寺尾 徹, 森 征洋 (香川大学教育学部)
- 13 人工降雨実験によって 2008 年夏季に高知で行われた観測
佐々浩司, *諸富和臣, 村田文絵 (高知大学理学部)
村上正隆, 山内 洋, 猪上華子, 中里真久, 楠 研一 (気象研究所人工降雨実験グループ)
- 14 梅雨前線帯南方の水蒸気量や輸送の維持について
~ 気候学的な視点の位置づけに関する解析と 1998 年の事例 ~
*池田祥一郎 (岡山大学大学院自然科学研究科)
加藤内蔵進 (岡山大学教育学部)
- 15 大気 - 海洋間の CO2 フラックスの測定
*廣江秀俊 (岡山大学環境理工学部), 沢田 健, 下重光次 (岡山大学大学院環境学研究科) 山下栄次 (岡山理科大学), 岩田徹 (岡山大学大学院環境学研究科)

17:29 閉会

18:00 ~ 20:00 懇親会 (徳島大学工業会館 1 階 喫茶 elbow)

